



Ⓐ

7月テスト

小4国語

解答用紙

※答えは、はつきりと濃く書き、直す場合には消しゴムで完全に消しなさい。また、解答欄からはみ出してはいけません。
※記号の「ア」と「イ」、数字の「一」と「7」などは区別をつけてはつきりと書きなさい。

⑳総得点
/ 100

㉑会場コード (右ヅメ)

㉒区分
1

㉓受験番号
4男1女9

㉔科目
A 1

氏 名

--

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

㉕第1領域 *
/ 16

* …漢字の読み書き

㉖第1領域 *
/ 16

小計 2点 ×
/ 16 ()

(5)	(1)
-----	-----

	す
--	---

5 1

(6)	(2)
-----	-----

る	
---	--

6 2

(7)	(3)
-----	-----

--	--

7 3

(8)	(4)
-----	-----

--	--

8 4

㉗第2領域 **
/ 24

** …ことばのきまり

㉘第2領域 **
/ 24

小計 3点 ×
/ 24 ()

(2)	(1)
-----	-----

③	①	①
---	---	---

15 13 10

④	②	③
---	---	---

①	①	
---	---	--

16 14 12

②	②	④
---	---	---

③	③	
---	---	--

④	④	
---	---	--

⑤	⑤	
---	---	--

⑥	⑥	
---	---	--

⑦	⑦	
---	---	--

⑧	⑧	
---	---	--

⑨	⑨	
---	---	--

⑩	⑩	
---	---	--

㉙第3領域 *
/ 32

* …物語の読解

㉚第3領域 *
/ 32

小計 4点 × 減点
/ 32 () - []

(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

24		②	①		19	18	17
----	--	---	---	--	----	----	----

21

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

23

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--	--	--

㉛第4領域 **
/ 28

** …説明的文章の読解

㉜第4領域 **
/ 28

小計 4点 ×
/ 28 ()

(4)	(3)	(2)	(1)
-----	-----	-----	-----

②	①	②	①	B	A
---	---	---	---	---	---

31

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

29 28

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--

--	--	--	--	--	--



※答えは、はっきりと濃く書き、直す場合には消しゴムで完全に消しなさい。
また、解答欄からはみ出してはいけません。
※記号の「ア」と「イ」、数字の「1」と「7」などは区別をつけてはっきりと書きなさい。
※解答欄には答えのみ書きなさい。

2024 ㊦ 7月テスト 小4算数 解答用紙

太枠内に記入しなさい。受験番号は性別番号を○でかこみ、下3ケタを正しく記入すること。

②会場コード(右ツメ)	③区分	⑨受験番号	⑩科目	氏名
	1	4男1女9	A 2	

⑳総得点	4A 算-7
	/100

1	(1)	①		1	
		③		3	
		⑤	あまり	5	
		(2)	束	6	
		(3)	ふくろ	7	
	(4)		円	8	
		小計			24

2	(1)	①	頭	9
		②	回	10
		③	頭	11
	(2)	①	回	12
		②	月	13
		③	月で、ちがいは	円
	小計			24

3	(1)	①		15	
		②	(億)	16	
	(2)	①		17	
		②		18	
	(3)	①	億	万	19
		②	億	万	20
	(4)				21
		小計			28

4	(1)	①	度	22
		③	度	24
	(2)	①	度	26
		②	度	27
		②	度	23
		④	度	25
小計			24	

かいとう 算数解答 2024

1	(1)	①	17986	1
		③	$\frac{4}{7}$	3
		⑤	139 完答 あまり 1	5
		(2)	26 束	6
	(3)	14 ふくろ	7	
		(4)	95 円	8
	3点 × ()			
	小計		24	

②	6.9	2
④	19	4

2	(1)	①	2 頭	9
		②	3 回	10
		③	22 頭	11
	(2)	①	7 回	12
		②	6 月	13
		③	8 月で、ちがいは 完答 270 円	14
	4点 × ()			
	小計		24	

3	(1)	①	6	15
		②	10 じゅう [十] (億)	16
	(2)	①	5000000000 数字指定	17
		②	2498000000 数字指定	18
	(3)	①	3 完答 億 5000 万	19
		②	2 完答 億 9970 万	20
	(4)	198765432 数字指定	21	
	4点 × ()			
小計		28		

4	(1)	①	224 度	22
		③	50 度	24
	(2)	①	23 度	26
		②	54 度	27
	4点 × ()			
	小計		24	

②	292 度	23
④	128 度	25

解説

1 (1)② $4.7 + 8.6 - 6.4 = 13.3 - 6.4 = 6.9$

$$\textcircled{3} \quad 1 - \frac{5}{7} + \frac{2}{7} = \frac{7}{7} - \frac{5}{7} + \frac{2}{7} = \frac{2}{7} + \frac{2}{7} = \frac{4}{7}$$

(2) $182 \div 7 = 26$ (束)^{×12}

(3) $67 \div 5 = 13$ あまり2より、あめが5こ入ったふくろが13ふくろできて、

あめが2こあまりです。あまった2こもふくろに入れるから、ふくろは、

$|3+|=|4(\text{ふくら})\text{いり}|\text{ます。}$

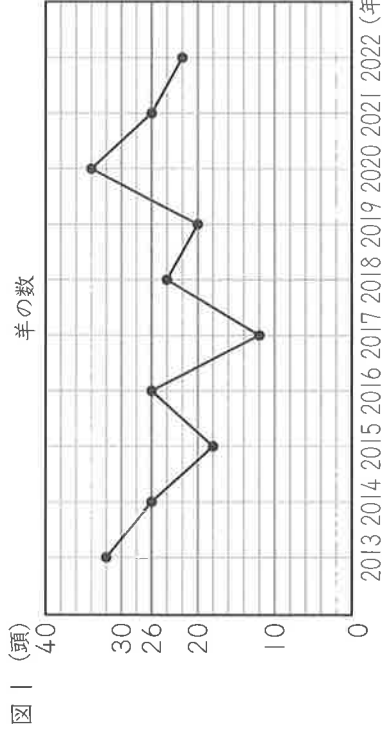
(4) 3年生14人から集めたお金は、 $60 \times 14 = 840$ (円)だから、4年生か

らは、 $1600 - 840 = 760$ (円)集めました。4年生は8人だから、1人が

ら集めたお金は、 $760 \div 8 = 95$ (円)です。

2 (1) ① 5目もりで10頭を表しているから、1目もりは、 $10 \div 5 = 2$ (頭)を表します。

② たてのじくの26頭を表す目もりは、下の図1のように、20頭の目もりより3目もり上です。2014年、2016年、2021年の3回です。



- ③ 最も少なかったのは2017年で12頭、最も多かったのは2020年で34頭です。よって、ちがいは、 $34 - 12 = 22$ (頭)
- * 2017年のグラフの点と2020年のグラフの点は1目もりちがうから、 $2 \times 11 = 22$ (頭)と求めてもよいです。

- (2)① みかさんのちよ金ぐを表すグラフの点がお姉さんのちよ金ぐを表すグラフの点より上にある月を読み取ります。1月、5月、6月、7月、8月、9月、12月の7回です。

- ② グラフのかたむきが最も急なところを読み取ります。前の月とくらべて右上がりで最も急なのは12月で8目もり、右下がりでも最も急なのは6月で9目もりです。よって、^か変わり方が最も大きかったのは6月です。
- ③ ちがいが最も大きいのは、同じ月で2人のちよ金^がくを表すグラフの点^が最もはなれている8月で、13目もり半はなれています。たてのじくは5目もりで、 $400 - 300 = 100$ (円)を表しているから、1目もりは $100 \div 5 = 20$ (円)、半目もりは、 $20 \div 2 = 10$ (円)を表します。13目もりは、 $20 \times 13 = 260$ (円)だから、13目もり半は、 $260 + 10 = 270$ (円)です。

*それぞれの8月のちよ金がくを求めると、みかさんは620円、お姉さんは350円だから、 $620 - 350 = 270$ (円)と求めてもよいです。

3 (1)① 位取りの表を書いて数

字をあてはめると、右の

※図2のようになります。

一兆^{ちよう}の位の数字は6です。

② 2は十億じゅう億の位だから、

10億が2にあることを

表しいます。

- (2)① 右はしに0がある整数を $\frac{1}{10}$ にすると、右はしの0が1これて位が1つ下がります。数字で書くと図2のようになります。
- ② 1億を10000万と考えると、
 $25\text{億} - 200\text{万} = 24\text{億}10000\text{万} - 200\text{万} = 24\text{億}9800\text{万}$ です。
24億9800万を数字で書くと、図2のようになります。

兆	千	百	十	億	千	百	十	萬	千	百	十	一
6	0	8	2	9	0	0	4	0	0	0	0	0
				5	0	0	0	0	0	0	0	0
				5	0	0	0	0	0	0	0	0
				2	4	9	8	0	0	0	0	0

(1)

(2) ①

②

- (3)① イは、3億より5目もり大きい数です。1目もりが1000万だから、5目もりは5000万で、 $3\text{億}+5000\text{万}=3\text{億}5000\text{万}$
- ② 5目もりが、 $3\text{億}50\text{万}-3\text{億}=50\text{万}$ だから、1目もりは、 $50\text{万}\div 5=10\text{万}$ です。アは、3億より3目もり小さい数です。3目もりは30万だから、アは、3億より30万小さい数で、 $3\text{億}-30\text{万}=2\text{億}10000\text{万}-30\text{万}=2\text{億}9970\text{万}$
- (4) 2億より小さくて最も2億に近いのは198765432で、2億とのちがいは、 $20000000-198765432=1234568$ です。
- 2億より大きくて最も2億に近いのは213456789で、2億とのちがいは、 $213456789-200000000=13456789$ です。

1234568 < 13456789より、2億に最も近いのは198765432

- 4** (1)① ㉗=360-136=224(度)
- ② 下の図3で、向かい合った角の大きさは等しいから、㉕=68度です。
- よって、㉔=360-68=292(度)
- ③ 下の図4で、㉚=180-129=51(度)だから、㉙=101-51=50(度)
- * 101度の角に注目して、 $180-101=79$ (度)、 $\textcircled{ウ}=129-79=50$ (度)と求めてもよいです。

図3

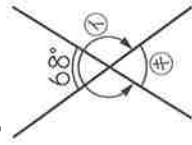
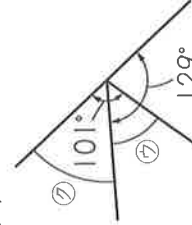


図4



- ④ 下の図5で、㉙=88度、㉚+㉛=216(度)だから、㉛=216-88=128(度)、㉜=㉛=128(度)
- * 下の図6で、㉜=216-180=36(度)、㉞=180-88=92(度)、 $\textcircled{エ}=\textcircled{ウ}+\textcircled{シ}=36+92=128$ (度)と求めてもよいです。

図5

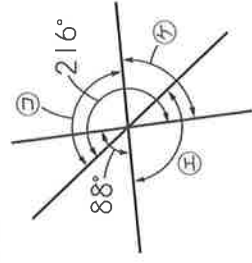
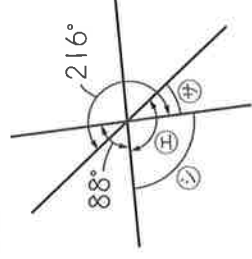


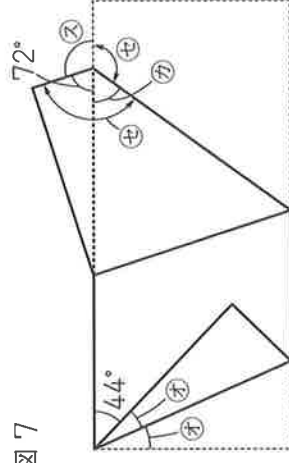
図6



- (2) 折り返した角の大きさは等しいことを使います。

- ① 下の図7で、㉙の角2つの大きさが、 $90-44=46$ (度)だから、 $\textcircled{オ}=46\div 2=23$ (度)
- ② 図7で、㉚=180-72=108(度)だから、㉞の角2つの大きさが、 $360-108=252$ (度)です。よって、 $\textcircled{セ}=252\div 2=126$ (度)だから、 $\textcircled{カ}=126-72=54$ (度)

図7



[illegible]

(4) (列例)「三年の授業で俳句をやったこと。」
・「俳句をやった・俳句を習った・俳句を学んだ・俳句を教わった」にあたる内容がないものは0点。
・「去年・三年生で・三年生のとき」にあたることは1～2点。「三年生」は「小三・三年」でも可。
・「小学・小学校(三年生)」「(三年生の)授業・国語」の有無は問わない。

かい せつ

1 漢字の読み書き

2 主語と述語

- (1) 主語と述語の関係は、述語がどういうことを表しているかによって、「何が—どうする(とった)」、「何が—どんなだ(静かだ・うつくしい)」、「何が—何だ(四やいだ)」という三つの形に分けられます。
- (2) 文の主語と述語を見つけたときは、まず述語を見つめます。①は、「中止だった」という述語を見つけたら、「何が」中止だったのかを考えます。③も、「何が」あるのかを考えます。④も、「何が(だれが)」来たのかを考えます。②は、「本だ」が「何だ」を表す述語なので、「何が」本なのかを考えます。なお、③のように、主語は「うが」「うは」以外に、「うも」などの形になっていることがあるので気をつけましょう。また、④のように、ことばの順序をふつうとは逆にしている場合、述語が文の終わりにきていないこともあるので注意しましょう。

3 物語(堀直子「わたしたちの歌をつたて」より)

- (1) 「その輪にあわせる」とは、自分の意とはなく周りの行動に合わせるということです。また、小さく拍手をしていることから、「あたし」が「ひかえめな性格」であることがわかります。
- (2) 「ありきたり」と似た意味のことばに、「月並み」「平凡」「ありふれた」などがあります。
- (3) 一つめの空らんの直後に「なんじや?」、二つめの空らんの直後に「短歌だつて?」とあることから、共通して状況がよく理解できていないことがわかります。この様子に合うのは「ばかんと」です。
- (5) ① 本文中の「あたしはびっくりした」、「あたしは、おろおろ席からたちあがった」と工の内音が合っています。「しどろもどろ」は、話がまとまらずに混乱する様子を表します。
- (7) 本文の最初には「あたしは『へんな子』だなんて思った」とありますが、最後には「あの子のことを、すこいな、うらやましいな、なんて、もう思いはじめている」とあります。そう思ったのは、「あの子」が短歌を作るという意外な行動を見せたことがきっかけになっているので、イの内容と合っています。

4 説明的文章(倉橋和彦「渡り鳥——方向感覚のふしぎ——」より)

- (3) ① 空らんの前の「夜の渡り」については、だいたい、このように考えられています」と、あとの「自然のしくみとして、人間にはよくわからない特別な理由がほかにあるのかもしれない」が反対のつながりになっています。
- ② 空らんの前の段落までは、渡り鳥が夜に渡りをする理由について書かれていますが、空らんのある段落では、渡り鳥がどうやって渡りの方向を知るのかという話題に変わっています。
- (4) ② 選抜肢を見ると、同じ作りの文がならんでいます。一つひとつのまとまりごとに、合っているものには○をつけるなどすると、わかりやすいでしょう。まず、実験に使った鳥が渡りをしたことがあるかどうかについては、本文中に「これまでに渡りをしたことのないムシクイの若鳥を、プラネタリウムの中に置いてみました」とあることから、「ない」が正しいとわかります。次に、ムシクイがとった行動が、星をたよりに渡りをするというザウワールの考えが正しいと示すものかどうかです。ムシクイは「プラネタリウムの星を見て」「正しい方向に頭を向けることができました」とあるので、ムシクイはザウワールの考えが「正しい」とを示すような行動をとったとわかります。

1

次のそれぞれの文の——線部の、漢字は読み方をひらがなで、カタカナは漢字で書いて答えなさい。

- (1) ノートを書_くす。
 (2) 家路_{みち}につく。
 (3) 歩道橋_{ふどうきょう}をわたる。
 (4) 車_{くるま}が横転_{よこてん}する。
 (5) アブラエ_{あぶらえ}をかく。
 (6) 次の計画_{けいかく}を_をえる。
 (7) デンパ_{でんぱ}を受信_{じゅしん}する。
 (8) セカイ_{せかい}を旅_{たび}する。

2

文の中で、「何(だれ)が」を表すことばを主語といい、「どうする・どんなだ・何だ」を表すことばを述語_{じゆつご}といいます。これについて、次のそれぞれの問いに答えなさい。

- (1) 次の①～④の文の——線部の述語_{じゆつご}の説明としてふさわしいものを、それぞれあとから一つずつ選_{えら}び、記号で答えなさい。
- ① だれもない教室_{けうしつ}は静_{しず}かだ。
 ② テストで百点満点_{ひゃくてんまんてん}をとった。
 ③ ばくの妹は今年で四_よさいだ。
 ④ 庭_{にわ}にさくユリはうつくしい。
 ア「どうする」を表している。
 イ「どんなだ」を表している。
 ウ「何だ」を表している。
- (2) 次の①～④の文について、それぞれの文全体の㉠主語と㉡述語を一つずつ選_{えら}び、記号で答えなさい。
- ① アきのうのイ遠足_{えんそく}はウ雨_{あめ}でエ中止_{ちゅうし}だった。
 ② アぼくがイもらったウプレゼントはエ本_{ほん}だ。
 ③ ア今週_{こんしゅう}、イ算数_{さんすう}のウテストもエある。
 ④ アどこからイ来た_{きた}の、ウあのエ子どもたちは。

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

担任の杉本先生たんにん すきもとのあとから、四年二組の教室にはいつてきたあの子を見たとき、あたしは「へんな子」だなんて思った。

だって、あの子ときたら、うつむいたきりで、長いまえがみが、おでこだけじゃなく目の下までおおっていて、顔が見えない。

みじかいズボンのすそから、日に焼けた足首がによきつとでている。

グレーの半そでのTシャツはのびきって、よれよれだ。

あたしだって、あんなかつこう、ぜったいにしないけど、うちのクラスは、おしゃれな子がおおいから、ぎやくにめだってしまふのだ。

「みんな、きょうから二学期よ。そのまえに、転校生を紹介するわね」

白いブラウスがとってもにあう杉本先生は、黒板に大きく名前を書いた。

「転校生の野々村詩音さん。東京からやってきたの」

学級委員の前川まえかわはるなど、はるなの親友、倉田あやみがぱらぱらと拍手し、だんだんとその輪が教室じゅうにひろがっていった。

① あたしもその輪にあわせるように、小さく拍手した。

「前川さん、みんなを代表して、なにか、ひとこといつてちょうだい」

杉本先生のとしかけに、はるながすつとたちあがって、さらさらのかみをかきあげた。

「早く、この学校になれるといいですね。わからないことがあったら、なんでもいつてください」

はるなは、② ありきたりなことをぺらぺらしゃべった。

「そうね、じゃあ、野々村さんから、ひとこと、どうぞ」

詩音はまだ下をむいたきりだった。

「どうしたのかな？ そんなにきんちようしないで……」

詩音は、にやつと笑った。口もとが片ほうだけあがって、なんだか、悪いことでもたくらんでいる子ぎつねのようだ。

詩音はチョークをぐいつとにぎると、黒板にさらさらとはしらせた。

沿線の林のむこう新しい小学校の窓がかがやく

クラスのみんなが ※ した。

「なんじゃ？ なんじゃなんじゃ？」

学級委員の本村レオが、おおげさにわめいた。

「短歌ですね」

黒岩咲知子くろいわさちこがいった。黒岩さんは、クラス一の文学少女だ。

「わたしも、そう思いました。短歌です」

あやみが黒岩さんのことばにうなずき、まっかなノースリーブのうでをくんだ。

なによりも、あたしがいちばん ※ した。

短歌だって？

あれ、短歌っていうの？

字はあんまりじょうずじゃなかったけど、どこから、あんなことばが、でてくるの？

あたしのなかで、「へんな子」のイメージが、がたがたくずれるのと同じに、ますます「へんな子」のイメージがつきまとった。でも、そのイメージは、きらきらまぶしいぐらい、かくだんにあがった。

「野々村さん、すごいわね。あつというまに、短歌をつくったのね」

杉本先生がほえんだ。それから、クラスじゅうをみわたした。55
「二期の国語の授業で、きみたちも短歌をならうのよ。俳句とは、またちがうけど、楽しみにしてて」

③ あたしは思いだした。

俳句は、三年生のとき、たしかにやった。五七五だった。

「短歌というのはね、俳句よりも、ちよつとだけ長いよ。五七五七七で、そのぶん、気持ちや感情を、よみこめるの」

杉本先生は、詩音の短歌を二、三度よみあげた。

④ この短歌について、そうね、星野なずなさん、どう思うかな？

あたしはびっくりした。なんで、あたしが、指されるの？

あたしは、おろおろ席からたちあがった。

「えっと……小学校が、沿線……？」

「バスどおり、とてもいいわ」

杉本先生が助け舟をだしてくれた。

「小学校が、バスどおりの林のむこうにたっていて、窓がかが

70

やいています」

「ちえつ、そのまんまじゃん」

レオがしたうちした。

「でも、そのとおりよ」

杉本先生がいった。

「つまり、転校してきたときのしんせんな気持ちとか、新しい小学校にたいする期待とかを、歌ったものだと思います」

黒岩さんがメガネをおしあげていった。黒岩さんは、はるなやあやみにも負けないぐらい、ううん、それ以上に勉強できるが、一匹オオカミで、いつも本ばかりよんでいる。

「そうね、そのとおりよ」

杉本先生は、二回おなじことをくりかえした。

⑤ みんなも、野々村さんをみならって、短歌をつくったらいいわ。五七五七七よ。ことばをただならべるだけでもいい。あり

のままの気持ちをよめばいいの。授業の予習にもなるしね」

詩音は教室の窓ぎわの、いちばんうしろの席にすわった。

長いまえがみのおくの顔は、どんな顔？

杉本先生にほめられて、とくいそうな顔？

あたしはどきつとした。だって、あたしったら、あの子のことを、すごいな、うらやましいな、なんて、もう思いはじめているのだから……。

〈堀直子「わたしたちの歌をうたって」より〉

©JIKS14

90

85

80

75

(1) — 線①「あたしもその輪にあわせるように、小さく拍手した」とありますが、ここからわかる「あたし」の性格としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア いじっぱりな性格。

イ お調子者な性格。

ウ 気まぐれな性格。

エ ひかえめな性格。

(2) — 線②「ありきたり」の意味としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 相手が不安にならないようにやさしくすること。

イ だれかから聞いたことばをそのまま伝えること。

ウ 相手に対して無関心で、そっけなくすること。

エ 新しさや工夫などがなく、ありふれていること。

(3) 本文中に二か所ある※に共通して入るふさわしいことばを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア いらつと

イ がくりと

ウ ぽかんと

エ はらはらと

(4) — 線③「あたしは思いでした」とありますが、「あたし」はどうしたことを思いでしたのですか。「こと」という形で、二十字をこえないように（や。も字数に数えます）書いて答えなさい。

(5) — 線④「この短歌について、そうね、星野なずなさん、ど

う思うかな？」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

① 杉本先生にこのようにきかれたときの「あたし」の反応についての説明としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 先生に自分の考えをしっかりと言おうとしてあせり、考えがまとまらないままに答えている。

イ 先生によい答えを期待されていることにうれしくなり、自分の考えをはきはきと答えている。

ウ 先生が無理な問いかけをしてきたことにいらだち、わざとあたふたしながら答えている。

エ 先生が自分にきいてきたことにおどろき、しどろもどろになりながらも何とか答えている。

② 「この短歌」にこめられた野々村さんの気持ちを表したふさわしいことばを、本文中から三十五字（も字数に数えます）でさがし、その初めと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

(6) — 線⑤「みんなも、野々村さんをみならって、短歌をつくったらいいわ」とありますが、杉本先生は短歌をつくるときに、何をよめばいいと伝えていますか。ふさわしいことばを本文中から九字で書きぬいて答えなさい。

(7) 本文中の「あたし」についての説明としてふさわしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 野々村さんのように短歌をよめれば先生にほめられるとわかり、自分も短歌をよめるようになると考えている。

イ 初めは「ヘンな子」だと思っていた野々村さんの意外な一面にふれて、野々村さんのことが気になっている。

ウ 野々村さんの短歌のせいではずかしい思いをしたので、自分から話しかけるのはやめようと思っている。

エ 野々村さんは見た目も性格も「ヘンな子」だとわかったので、どのように接していいかわからないでいる。

4

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

いわゆる「鳥目^{とりめ}」ということがあります。少し暗くなると、もうはつきりとものが見えなくなる目の病気のことです。

「鳥目」というくらいですから、鳥は夜になるとまったく目が見えなくなると言う人があるかもしれませんが、^{じっさい}実際は、^①そうではありません。わたしたち人間でも、うす暗いところでも目が見えるように、鳥だって夜でも見えます。そして、^②渡り鳥^{わたどり}の中には、長い長い渡りの旅を、夜おこなうものがあります。

どうしてわざわざ夜に渡りをしなければならないのかというと、ワシやタカにおそわれるのをさけるためではないか、といわれています。同じ渡り鳥でも、ツバメのように速く飛べる鳥なら、ワシやタカにおそわれても逃げる^にことができます。でも、あまり速く飛べない鳥はすぐにつかまってしまいますから、ワシやタカの活動しない夜に渡りをするものができたのではないかというのです。

それに、夜渡りをしておくと、昼を休息とエサの補給^{ほきゅう}にあてられることも、ひとつの理由にあげられています。もし、昼、渡りをし、夜、目的地^{もくてきち}に着いたとすると、そこはもう暗やみですからエサを見つけるのはたいへんです。せつかくたどりついても、体はヘトヘト、おなかはペコペコでは、その場でたおれてしまいます。そこで、夜渡りをしておけば、昼の間にたやすくエサを見つければ、エネルギーの補給ができるというわけです。

夜の渡りについては、だいたい、このように考えられています。

①、自然^{しぜん}のしくみとして、人間にはよくわからない特別な^{とくべつ}

理由がほかにあるのかもしれませんが。

②、夜渡りをする鳥は、いったいどうして渡りの方向を知るのでしょうか。昼渡りをする鳥は、おもに太陽によって方向を決めているのを、わたしたちは、見てきました。でも、太陽のまわったく見えない夜には、鳥はどうするのでしょうか。

③ドイツのザウワーという学者は、夜渡りをする鳥について、おもしろいことを考えました。昼に渡りをする鳥が太陽で方向を知るなら、夜渡りをする鳥は、ひよっとしたら、星をたよりにするのではないかと思ったのです。そして、人工の星空の下で、つまり、プラネタリウムの中で実際に鳥を飛ばしてみたのです。わざわざプラネタリウムを利用するなんて、いかにも科学者らしい行動です。

ザウワーが実験に使ったのは、ムシクイという鳥です。ムシクイは夜に渡りをおこなう鳥です。「ホーホケキョー」と鳴くおなじみのウグイスも、このムシクイのなかまです。ザウワーはまず、これまでに渡りをしたことのないムシクイの若鳥を、プラネタリウムの中に置いてみました。もちろん、ちょうど渡りの季節がきて、しきりにソワソワとしはじめたころです。

はたしてまだ渡りをしたことのないムシクイの若鳥は、プラネタリウムの星を見て渡ってゆく方向を決めることができたでしょうか。

ムシクイは正しい方向に頭を向けることができました。

〈倉橋和彦「渡り鳥——方向感覚のふしぎ——」より〉

©JIKS14

(1) 線①「そうではありません」とありますが、これを次のように言いかえるとき、に入るふさわしいことばを、本文中から十七字でさがし、その初めと終わりの五字を書きぬいて答えなさい。

〈鳥はというわけではない。〉

(2) 線②「渡り鳥の中には、長い長い渡りの旅を、夜おこなうものがあります」とありますが、本文中では夜に渡りをおこなう目的について二つの可能性をあげています。それらをまとめた次の文のに入るふさわしいことばを、それぞれ本文中から、Aは五字、Bは二字で書きぬいて答えなさい。

- ・速く飛べない鳥がAにおそわれないようにするため。
- ・昼にエサを補給したり、Bをとったりするため。

(3) ①・②に入るふさわしいことばをそれぞれ次から一つずつ選び、記号で答えなさい。(同じ記号は二度選ばせん。)

ア そこで イ でも ウ なぜなら
エ つまり オ ところで

(4) 線③「ドイツのザウワーという学者は、夜渡りをする鳥について、おもしろいことを考えました」について、次のそれぞれの問いに答えなさい。

① ザウワーは夜渡りについて調べる実験で、何という名前の鳥を使いましたか。ふさわしいことばを本文中から書きぬいて答えなさい。

② ザウワーの実験のやり方と結果についての説明として、ふさ

わしいものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 渡りをしたことのある鳥をプラネタリウムの中に放し、星をたよりに渡りをするのかを調べた結果、鳥はその考えが正しいと考えられるような行動をとった。

イ 渡りをしたことのある鳥をプラネタリウムの中に放し、星をたよりに渡りをするのかを調べた結果、鳥はその考えがまちがいだと考えられるような行動をとった。

ウ 渡りをしたことのない鳥をプラネタリウムの中に放し、星をたよりに渡りをするのかを調べた結果、鳥はその考えが正しいと考えられるような行動をとった。

エ 渡りをしたことのない鳥をプラネタリウムの中に放し、星をたよりに渡りをするのかを調べた結果、鳥はその考えがまちがいだと考えられるような行動をとった。

(これで問題は終わります)



1 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 次の計算をしなさい。⑤はあまりも求めなさい。

① 529×34

② $4.7 + 8.6 - 6.4$

③ $1 - \frac{5}{7} + \frac{2}{7}$

④ $76 \div 4$

⑤ $835 \div 6$

(2) 182まいの紙を7まいずつの^{たば}束にすると、紙の束は何束できますか。

(3) あめが67こあります。このあめをふくろに入れていきます。1ふくろに5こずつ入れていくとすると、全部のあめをふくろに入れるには、ふくろは何ふくろいらいますか。

(4) サッカークラブでボールを買うために、3年生14人からは1人60円ずつ、4年生8人からは1人何円かずつお金を集めたところ、1600円集まりました。4年生からは1人何円ずつ集めましたか。

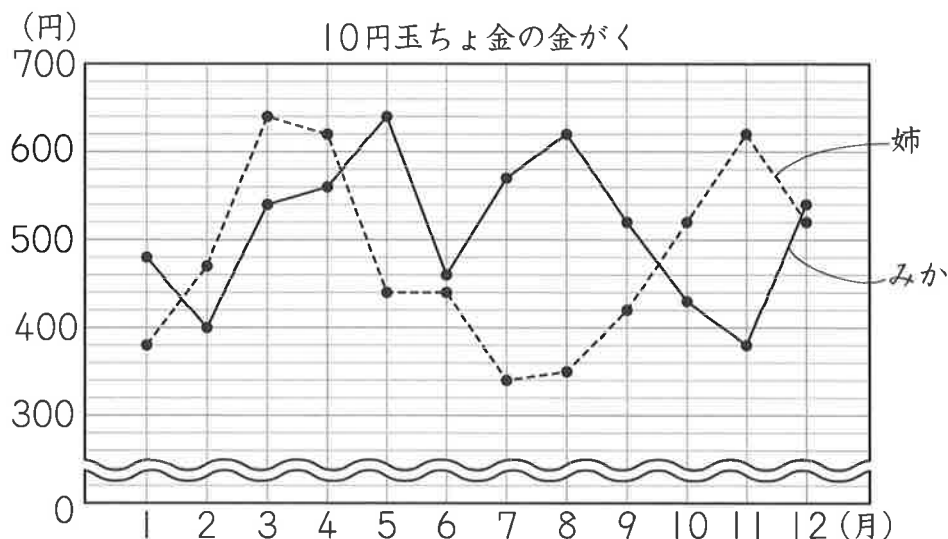
2 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

- (1) 下の折れ線グラフは、ある^{ぼくじょう}牧場の羊の数を年に1回、調べて表したものです。
これについてあとの①～③に答えなさい。



- ① たてのじくの1目もりは何頭を表していますか。
- ② 羊の数が26頭だった年は、何回ありましたか。
- ③ 羊の数が最も^{もっと}少なかった年と最も多かった年とでは、羊の数のちがいは何頭でしたか。

- (2) みかさんとお姉さんは、それぞれちょ金箱に10円玉だけを入れる10円玉ちょ金をしています。下の折れ線グラフは、2人のちょ金がく^かの変わり方を毎月1日に調べて表したものです。これについてあとの①～③に答えなさい。



- ① 同じ月で、みかさんのちょ金がくの方がお姉さんのちょ金がくより多かった月は、何回ありましたか。
- ② みかさんの2月から12月までのちょ金がくについて、前の月とくらべてちょ金がくの変り方が最も大きかったのは、何月でしたか。
- ③ 同じ月で、みかさんのちょ金がくとお姉さんのちょ金がくのちがいが最も大きかったのは、何月でちがいは何円でしたか。

3 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 6082900400000について次の①, ②に答えなさい。

① 一兆^{ちよう}の位^{くわい}の数字を答えなさい。

② 次の にあてはまる数を答えなさい。

この数の2は, 億^{おく}が2こあることを表しています。

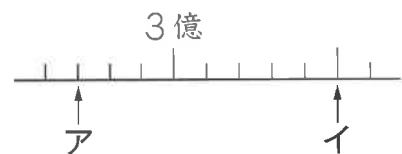
(2) 次の にあてはまる数を, 0, 1, 2, …などの数字だけを使って答えなさい。

① 500億を $\frac{1}{10}$ にした数は, です。

② 25億より200万小さい数は です。

(3) 右の数直線について, 次の にあてはまる数を答えなさい。

① 1目もりが1000万を表すとき, イの目もりが表す数は 億 万 です。



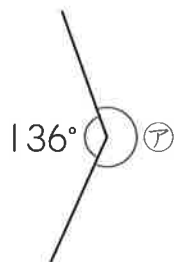
② イの目もりが3億50万を表すとき, アの目もりが表す数は 億 万 です。

(4) 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の9この数字をすべて使って9けたの整数をつくる時, 2億に最も近い数を, 1, 2, 3, …などの数字だけを使って答えなさい。

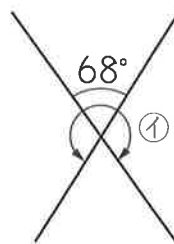
4 次の問いに答えなさい。なお、^{かいとうらん}解答欄には答えのみ書きなさい。

(1) 次の①～④で、ア～エの角の大きさは、それぞれ何度ですか。

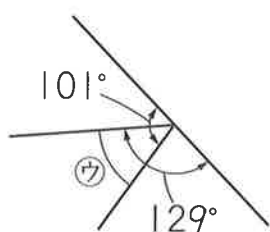
①



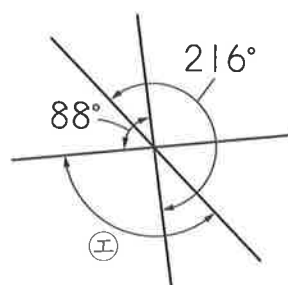
②



③

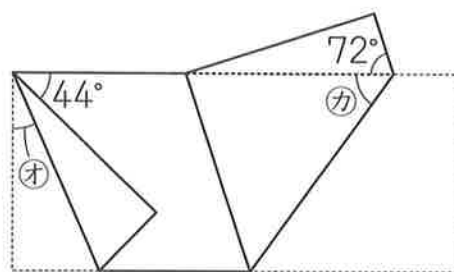


④



(2) 右の図のように、長方形の紙を2か所で折り返しました。これについて次の①、②に答えなさい。

① ㊦の角の大きさは何度ですか。



② ㊧の角の大きさは何度ですか。

(これで問題は終わりです)